



エム・エス・ケー農業機械㈱

## 実りある視察研修。今後の酪農経営へ



(有)福屋牧場

### 目次 Contents

北海道酪農・畜産危機突破緊急集会…………… 2～3  
 良質粗飼料・良質乳合同講習会…………… 4～7  
 青年部視察研修 他…………… 8～10  
 女性部総会 他…………… 10～11  
 酪農体験…………… 12  
 未来牧場通信…………… 13  
 営農対策情報…………… 14

別海高校活動報告…………… 15  
 理事会の動き・乳質乳価…………… 16  
 退職者挨拶…………… 17  
 組織構成図…………… 18  
 店舗・スタンドLINE案内…………… 19  
 生乳課情報…………… 20  
 インフォメーション…………… 21  
 クロスワード…………… 22

# 北海道酪農・畜産危機突破緊急集会 開催される



JAGグループ北海道主催による、全国酪農・畜産農家の危機脱却に向けた全国段階の大きな運動展開に繋げることを目的とした「北海道酪農・畜産危機突破緊急集会」が、3月18日(土)JA役職員・生産者合わせ、2000人を超える関係者が参集のもと(会場参加者800人)、ホテルライフォート札幌にて開催され、当農協からは7名が参加しました。

小野寺俊幸北海道農協中央会会長による主催者挨拶に始まり、土屋俊亮副知事、舟橋賢二道議会農政委員長より激励の挨拶をいただきました。

集会では、篠原末治ホクレン会長より情勢報告が行われ、その後、生産現場の声として、小椋茂敏上士幌町農協組合長、佐藤裕司東宗谷農協組合長、千葉澄子標茶町農協代表監事、佐藤克幸根室地区青協会長の4名より、意見表明がありました。

また、集会には自由民主党、公明党、立憲民主党、日本共産党、新党大地の国会議員19名が出席しており、各政党代表より挨拶をいただきました。



政党代表挨拶後は、新型コロナウイルス感染症拡大による生乳需給の悪化や、ロシアのウクライナ侵攻に伴う生産資材の高騰を受けた酪農・畜産業界の危機的状況の打開と経営維持に向けた集会決議（案）が提案され、満場の拍手により採択されました。



最後に、遠藤洋志道青協副会長より「この緊急集会の名のもとに集まった意思・意味を重く、先生方に受け止めてもらい、この集会がパフォーマンスとならないように会場の皆様、生産者の皆様の思いをガンバローに乗

せて、この難局を乗り越えていこうと思います」と首頭を執り、北海道酪農・畜産を守るために、ガンバロー」と、力強いガンバロー三唱が行われ会場が一丸となり、緊急集会が幕を閉じました。

# 良質粗飼料の 生産・確保に向けて



良質粗飼料生産利用対策委員会（原内修委員長）、良質生乳生産推進委員会（伊藤一吉委員長）主催、豊原・美原・中春別酪農振興会協賛による合同講習会が2月28日（火）団地センタートレーニング室にて、参加者25人のもと行われました。

良質粗飼料生産利用対策委員会では関連した2つのテーマで講演会を開催し、「営農管理システム『Z-GIS』」と題しJA全農の大越将大氏、「センシング技術を活用した牧草地の植生調査」と題し国際航業㈱の鎌形哲穂氏を講師に招きお話しいただきました。

## 「営農管理システム『Z-GIS』」

JA全農は、労働力不足や担い手の高齢化などの課題解決を図るため、スマート農業の導入による農作業の省力化・効率化を目的とした「Z-GIS」という営農管理システムを2018年4月より提供しております。年間利用料は2,640円、月額換算で220円となり、初期投資の費用が少なく利用料も安価であるため、敷居が低いというメリットがあります。

Z-GISは、圃場の情報をデジタル化し、作業記録の入力や過去の情報の確認ができるシステムであり、情報共有による作業の効率化や経営計画の構築に役立ちます。また、作業の受託面でも情報共有が簡易化されます。

紙での記録からネット環境でのデバイス（スマホ、タブレット）による現場での記録に変えることで、情報共有や管理・蓄積が容易になり、

過去のデータ検索や比較、作業改善箇所の分析、効率化や負担軽減が図れます。

このシステムは、PC上で圃場図形を簡単に登録し、管理することができます。（登録後の形状変更や圃



場の分割、結合) また、圃場の品種別の色分けや、ExcelやZIGISで圃場データを編集し、多数のデバイスで管理できるクラウドも利用可能です。圃場別に情報入力が出てくることから、面積や作物、品種、播種日、追肥日など作業情報の記録が自由に可能であり、これらを、データ検索もできるため、圃場を絞り込んで表示して内容把握ができ、作業計画に活用可能。加えて気象情報などを確認もできます。

他の機能としては、「親子機能」と言った全体を管理できる親ユーザーと、自分の部分のみを管理できる子ユーザーの設定や、「グループ共有機能」と言った、特定のユーザーで枠組める設定もあり、プライベート管理が可能。法人やJA等、複数人向けの機能も備わっております。

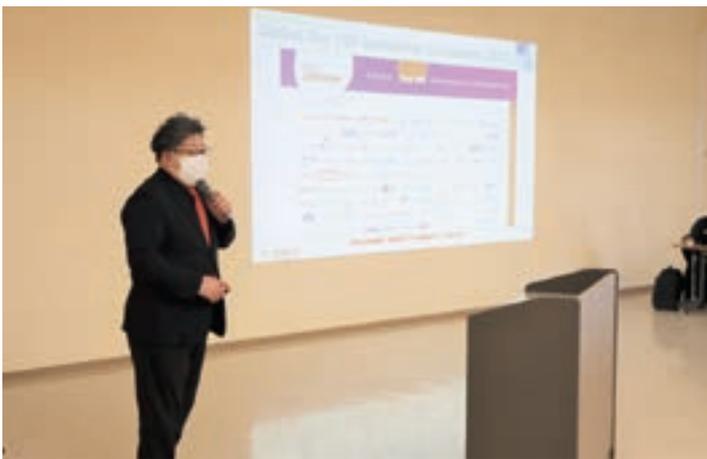
## 「センシング技術を活用した牧草地の植生調査」

農業現場では人材不足が問題となっており、特に酪農家は採草地や飼料作物を育てるための広い圃場を持ち、尚且つ牛の世話もする必要があるので、非常に大変です。近年の気象条件の悪化や海外からの輸入物の高騰もあり、自給性を高める必要があるため、国際航業(株)では、リモートセンシングを活用した圃場情報の可視化をするサービス「天晴れ」を

提供しております。

リモートセンシングは、離れたところから物体の形状や性質などを観測する技術で、人工衛星や航空機などに搭載したセンサーを用います。物体の電磁波の反射・放射特性を利用し、物体の識別を行い、植生や地表形状、水域、気象状況など幅広い分野で活用されています。植物に関しては、それぞれが反射する波長を観測し、植物の種類や生育状態を判断することができます。

天晴れの解析品目としては、水稲、小麦、大麦、大豆、牧草などの作物に対応しており、現在は20,000件以上の生産者が利用してお



り、登録料や初期投資は必要なく、解析費用のみとなります。

植生診断には、衛星・ドローンを用いた2種類の解析方法があり、それぞれメリットがあります。衛星は毎日撮影が可能ですが、雲が邪魔になる場合があること、データの購入費用が高いことが特徴です。一方、ドローンは市販品で利用でき、風や電波の状況によってリスクはありますが、自分の圃場を撮影するには非常に有効です。両者一長一短であり、費用や状況に応じて選択する必要があります。

判別の仕組みとしては、チモシーと地下茎型イネ科雑草の判別をします。春と秋の時期における枯れ具合と照らし合わせることで判別ができます。

基本的には、圃場データを登録して撮影した画像の解析を行うことができますが、牧草地においては、一つの圃場に複数種類の草が入っているため、画像だけでは判断が難しい状況です。そのため、数地点における衛星画像と同期した地上調査による、現場の草データが必要とされます。(この場所での方向でどのような草が生えていた等)

診断結果の有効活用方法としては、草地更新が挙げられます。基本的に、草地更新は圃場の劣化や牧草品質低下による乳質・乳量の低下、購入飼

料費増大等、経営負担の解消手段として必要性が挙げられますが、自身の圃場状態を適切に把握できていないために草地更新をしない人もいます。適切な草地更新を実現するために、客観的に草地更新が必要な場所を可視化し、生産者とJAで共通認識を持つことが重要です。

また、機械連携の部分では、難防除雑草の検出とピンポイント防除・更新が可能です。雑草の検出を行い、密集している部分へはラジヘリによる除草剤散布やセクションコントロール付きのブームスプレーヤーによる対応をするなど、ピンポイントで防除や更新をすることで、省力的な圃場の管理が実現できます。また、必ずしも高い機械を買うことが必須ではなく、あくまでも既存のやり方に合わせて活用していくことが重要です。

このように、圃場情報を可視化し、植生状況を把握し、検出した雑草の分布状況に応じて、最適な植生改善方法を選択して情報を機械側にも活用することで、戦略的な営農が実現します。草地管理の効率化や、防除や追肥にも役立ち、化石燃料の削減や気候変動への適応に繋がります。また、労働力や労働時間の削減は勿論のこと、植生状況の改善に繋がって、乳量・乳質の改善や生産性の向上が図れます。



# 良質乳生産推進委員会 講習会



良質乳生産推進委員会（伊藤一吉委員長）では、令和4年8月20日と令和5年1月17日に乳業工場ストレージタンク廃棄という大規模な事故が連続して発生した事を踏まえて、生産者に対して各々が出荷責任としてミルドクターベータ（簡易検査キット）を活用し抗生物質汚染事故「ゼロ」を目指してもらおうべく、去る2月28日に（有）ベッセル獣医環境衛生研究所 細田 康太氏を講師としてお招きし講習会を開催しました。

抗生物質混入事故の主な原因は、治療牛のマーキングの見落としや誤搾乳、また、薬剤投薬後の搾乳作業者への伝達漏れなどの「うっかりミス」が大半です。その場合、出荷前に事前検査をしていないと気がつかれることなく集荷され、ローリー汚



染事故廃棄となります。出荷毎にミルクドクターベータを使用し未然に抗生物質混入事故を防止することが大切になります。

ミルクドクターベータの特徴としては、①生乳中の抗生物質（βラクタム系）の検出ができる。②付属のカップに生乳を入れテストスリップを浸すだけなので簡便性が高い。③検査時間は最短5分と迅速に反応が出る。と誰でも簡単に使用で



き、結果までの判定時間も短く、また目視での判定がしやすい特徴があります。テストスリップでの目視判定については、陰性であれば3本ラインがくっきりと出ますが、陽性であれば3本ラインのうちどれかが薄く出る、または全く出ない等わかりやすい判定方法となっています。

反応薬剤については、多くの薬剤（セファメジン系、ペニシリン系、乾乳軟膏等）に対応していますが、カナマイシン、ピルスーは薬剤の特性上、ミルクドクターでは反応せず生乳課でのPD法（ペーパーディスク法）が必要となることから使用した際には必ず生乳課での検査をお願いします。

また、OTC（オキシテトラサイクリン系）についてもミルクドクターベータでは反応が出ないため生乳課での検査が必要となります。また、その際には必ずOTC使用の申告をお願いします。

ミルクドクターベータの使用は簡単ですが、いくつかの注意点があります。

- ① 検査する生乳の採取は必ずバルク上部から攪拌した生乳を採取すること（コック下から採取すると十分に攪拌されていない可能性があるため誤反応をおこす場合があります。）
- ② ミルクドクターベータのテストスリップを取り出す際には上部の部分のみを持ち、生乳浸漬部分には触れないように注意する。また、5分以上テストスリップを生乳に浸漬しない。（ラインが薄くなり誤判定の原因になります。）
- ③ 厳冬時に使用する際は検査キットが冷えすぎないように注意する。（検査環境の推奨温度は20℃以上、保管の際は直射日光を避けて2〜30℃で保存してください。冷蔵庫で保管するなどの対策をお願いします。また厳冬期は恒温器を使用して下さい。）
- ④ 生乳サンプルはバルク乳を使用し新鮮かつ正常な生乳で検査する。（個体乳の診断に用いることはできません。）
- ⑤ サンプルカップ、スポイトは検査ごとに新品を使い再利用はしない。

以上の点に注意し出荷前に使用して下さい。

また、ミルクドクターベータは簡易検査となります。陽性の反応が出た際には必ず生乳課に連絡し公定法（PD法）による判定を行ってください。

令和4年度においては2回のストレージタンク（乳業メーカー工場タンク）への抗生物質混入事故が発生し甚大な損害額となりました。

ストレージタンクの混入事故は他農協との合乳となり廃棄乳量が膨大となることから被害額も非常に大きくなります。また、その前段階のミルクローリーへの混入についても他農家との合乳となり多大な損害は免れられません。このどちらの汚染事故についても、原因を追究していった際に生産者に第一次責任が問われることとなります。

より一層の安心安全な生乳出荷を目指してミルクドクターの活用をお願いいたします。また、実施したミルクドクターの提示も引き続きお願いいたします。

## 青年会部会視察研修会

青年部の中でも30歳以下の若手で構成される青年会部会（田口皓基部会長）では、3月7日（火）～9日（木）にかけて部会員5人参加のもと、知識向上を目的に札幌近郊での視察研修会を実施しました。

### ○エム・エス・ケー農業機械株

1日目は、恵庭市にあるエム・エス・ケー農業機械株を視察し、武澤職員案内のもと会社概要や取り扱い機械に係る説明をいただきました。

エム・エス・ケー農業機械株は、1972年に創業され、農業用トラクターの販売は勿論のこと、作業用機械器具や部品の輸入販売。取扱商品の組立加工



及び修理や、石油類、農業関連部品の販売に手掛けており、販売品はフランスのクーン社やドイツのクラス社と契約をしております。

概要等の説明後は敷地内機械の見学と試乗をさせていただきました。機械に係る質問や、沢山ある機械に部員たちも釘付けでした。また、夜には懇親会を開催しました。顔馴染みの者や初顔合わせの参加者もあり、互いに仕



事やプライベートな会話をして交流を図りました。時間が経つにつれてそれぞれ親睦も深まり、仕事の疲れを癒す休息となりました。



### ○(有)福屋牧場

2日目は、同じく恵庭市にある(有)福屋牧場を視察し、福屋代表案内のもと場内の見学及び牧場概要の説明をいただきました。

(有)福屋牧場は、2001年（平成13年）設立し、ヘリンボーンミルクングパーラー（6頭ダブル）で搾乳をし、フリーストール牛舎、タイストール牛舎で飼養管理を行っています。令和元

年8月に火事が起きてしまいましたが、再建をして今に至ります。乳牛の管理に関しては、健康面や衛生面に注力しており、牛舎の造りは要所所所にこだわりが見られ、牛が過ごしやすい環境はもとより、人に対しても





仕事しやすい作業動線となっておりました。これも福屋代表が試行錯誤しながら今に至ります。

また、搾乳作業に関しては、繊維質の違うタオル2種類を使い、確実に乳頭の汚れを拭き

取っており、衛生面を徹底的に気にかけております。その甲斐あって乳房炎の治療は3ヶ月以上していないそうです。飼養管理に関しては、哺育面にもこだわりが見られました。作業線を考慮した位置に設けている

ことはもちろん、牛床も効率的な造りとなっておりました。福屋代表は「将来いかに稼いでくれる牛になるかは、1番このステージが重要だから、ここはとにかく徹底して故障の牛を出さないように管理している」と思いを話されておりました。

### ○ホクレン

牧場視察後は、札幌市のホクレンへ移動し、西川副会長とお話をさせていただきました。応接室にて近年における情勢についてや、今後の農業を取り巻く動向、副会長職の概要等の話をいただきました。また、西川副会長から「酪農が今、一番農業の中で大変だと言われているけど、まだまだ伸びしろがあるし、ある意味恵まれている産業である。生産資材が全部値上がりしているのは、全ての産業で一緒だけど、この大変な時に全国の人に、大変だって言うてもらえていいることが救いであり、気にかけてもらえていることはすごいことである。

ただ、持続可能な農業を目指す上でも、カーボンニュートラルに取り組んでいかななくてはならない。その先にいる消費者のニーズを意識した生産を心がけ、消費者に理解される農業を実現していかなくてはなら



ない。だけど、まだまだ希望はある。酪農は絶対無くならない仕事である。大変な時代ですけど、皆さんが食べていけるように私も頑張りますので、応援をお願いします。」と、今後の農業の担い手である若手農業者に向けて、労いの言葉をかけていただきました。

今回の視察を通じて得たことを活かして、これからの営農や青年部活動に努めていきたいと思えます。

若い力を結集して未来の酪農郷を築こう！

Y o u t h A s s o c i a t i o n

## 次年度に向けて、意識高まる懇親会に 青年部懇親会



3月20日(月)部員内懇親会を中標津町焼肉ジューズにて青年部員22名参加のもと開催しました。開会にあたり中山交流部会長より乾杯の挨拶をいただき、懇親会が始まりました。乾杯と共に食事を楽しみながら、部員それぞれが一年間を通しての青年部活動に対する反省や次年度に向けた意気込み、プライベートな話に華を咲かせ、終始賑やかな雰囲気にも包まれ、会話を楽しみました。最後に片岡部長から挨拶をいただき、一本締めで懇親会の幕を閉じました。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

Y o n g w o m e n ' s D i v i s i o n

## 中春別農協女性部 通常総会



部長	南 順子
副部長	原 内 友子
副部長	上 田 弥生
理事	山 本 まり子
理事	上 神 佳代子
理事	遠 藤 美奈子
監事	高 野 佳 永
監事	五十嵐 ひとみ

令和5年3月16日(木)に農業者団地センタートレーニング室にて、第49回中春別農協女性部通常総会が開かれました。開会にあたり南澤部長からの挨拶後、議事に入りました。議案第1号「令和4年度事業報告並びに収支決算について」議案第2号「令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について」議案第3号「令和5年度会費の賦課並びに徴収方法について」議案第4号「役員改選について」議案第5号「規約改定について」が可決承認されました。新役員は次のとおりです。

## 小物入れを寄付しました 木の実部会



木の実部会（会長高井恵美子）では3月20日（月）にデイホーム笑楽へチラシで作成した小物入れと雑紙のメモ用紙を部会を代表して平林美知子さんに寄付していただきました。小物入れは個々でできるボランティアの取組みとして、部会メンバーがおうち時間で少しずつ作成したものになります。部会では今後も小さなボランティア活動を行っていく予定です。

## 第67回 通常総会 JA根室地区女性協議会



会長 相澤 舞子（JAけねべこ）  
副会長 南澤 順子（JA中春別）  
副会長 青木 一枝（JA道東あさひ）  
監事 長縄さおり（JA中標津）  
監事 大沼 由紀（JA標津）

JA根室地区女性協議会第67回通常総会が3月28日（火）に根室農業会館で開催され各農協から女性部代表議員が出席しました。総会では議案第1号「令和4年度活動報告並びに収支決算の承認について」議案第2号「令和5年度活動計画（案）並びに収支予算（案）の設定について」議案第3号「令和5年度会費ならびに地区会長活動支援金の徴収方法（案）の決定について」議案第4号「役員改選について」が可決承認されました。また、役員改選は次の通りです。



総会終了後はJA根室地区女性協議会幹部・部員研修会が開催され、JA個別宅配事業ジョイライフネット版の活用について・国内農業視察研修報告・意見交換会が行われました。意見交換会では「JAの監事を引き受けた経過。やってみて感じたこと。」「JA理事を引き受けた経過。やってみて感じたこと。」「地区会長をやってみて。正組合員になってみて。」「地区会長となる意気込み。決心に至った経過など」「中央会の業務。女性部員、JA事務局に期待すること。」「の5グループに分かれて行い、どのグループも終始意見が出続ける活発な意見交換会となりました。



# 学生らが現場で酪農を学びました 学生インターンシップ

3月4日から23日にかけて2校計3名の学生がインターンシップに訪れ、それぞれ(株)なかしゅんべつ未来牧場での酪農実習・酪農ヘルパー同行研修・農家実習を行いました。



## 学校法人滋慶学園 TCA東京ECO動物海洋専門学校

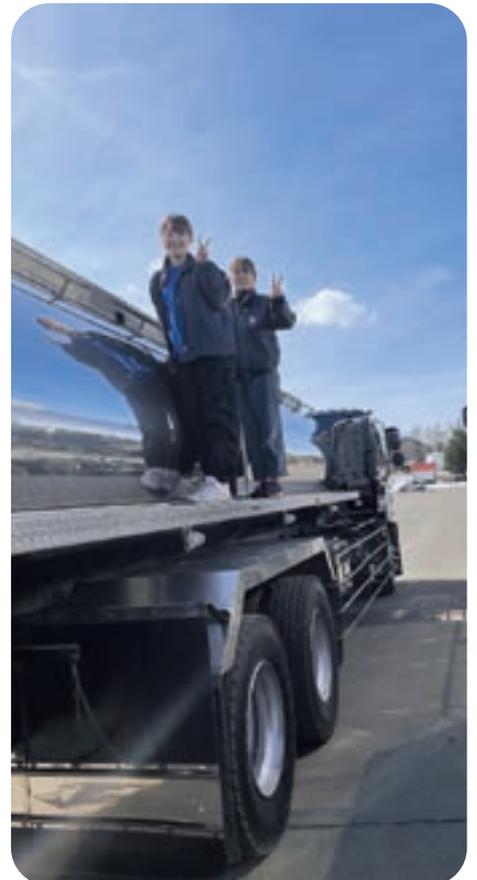
3月4日～10日 1名受入

農家実習で仔牛の哺乳作業等を行いました。「作業の大きな流れと、農家さんの乳牛への細やかな気遣いと衛生管理、そして膨大な作業があること等の大変さを知ることができてよかったです。」と酪農に関して理解を深めることのできる研修となったようでした。

## 学校法人工藤学園 愛犬美容看護専門学校

3月17日～23日 2名受入

(株)なかしゅんべつ未来牧場での酪農実習と酪農ヘルパー同行研修を行いました。実習中は未来牧場の視察・地区内の農場視察等を行い、獣医師による講義ではエコー妊鑑を見学し、エコー映像を見ながら胎子の様子を確認しました。「思った以上に体力が必要で、全身筋肉痛になるくらい大変な仕事だが、とてもやりがいのある仕事だと感じました。酪農家の方たちは毎日この生活を続けていると思うとすごいと思います。」と酪農に関して理解が深まる研修となりました。



今回のインターンシップで、牛舎作業や視察、講義などを通じて酪農に関する知識や魅力に触れていただけたと思います。今回の経験が今後の職業選択のきっかけのひとつになればと思います。参加された皆様お疲れ様でした。

## 修了式及び入所式

未来牧場では、4月1日(土)酪農研修センターにて、令和4年度研修修了証の交付並びに令和5年度研修生採用に係る辞令交付が行われました。

交付にあたり望月社長より「これから経営をする上で、心配事ばかりかと思えます。失敗

は恐れることはなく、次へのチャンスです。躓いて転んでも立ち上がって行けばいい。ここで学んだ事を活かして経営を頑張ってください。また、何かあった時は、話だけでも聞くことができるから気軽に話してほしい。聞いてもらっただけで、気晴ら



しになることもあるかと思えます。新規就農を夢見てここまで来たのですから、夢を咲かせましょう。」と就農に向けた激励の言葉が向けられました。

また、入所する研修生には「牛は生き物ですから、計算通りにはいかないこともあります。頑張っている結果に伝えてくれない時があります。けれど、基本に忠実に実行していけば、いつかは成功に繋がります。次のス

テップへと進めます。皆さんの活躍に期待をして、共に頑張っていきましょう。」と酪農家になるための心構えが伝えられました。

今後、草地管理作業から始まり、牧草収穫作業等、実地研修に取組みながら専門知識を取得するため、技術者からの座学講習を交え、新規就農を目指して3年間の研修が始まります。



パドックをうまく利用することは、作業の省力化や発情行動を観察しやすくなるなどの利点があります。また、屋外で運動することで、牛のストレスが緩和されます。

「人にも牛にも優しいパドック管理」について考えてみましょう！

## 1 パドック利用のポイント

### (1)パドックの土場の資材

土場の資材には、それぞれメリット、デメリットがあるため、これらを理解した上で利用することが大切です（表1）。

水飲み場やぬかるみや滑りやすい場所は資材を変えたり、勾配を利用することで牛にとって快適で、かつ日々の管理もしやすくなります。

表1 パドックの土場の資材別メリットとデメリット

	メリット	デメリット
黒ボク土 火山灰 石炭灰 山砂など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蹄に優しい</li> <li>・排水良好、乾燥しやすい</li> <li>・コストが比較的安い</li> <li>・資材が豊富にある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・凸凹しやすい</li> <li>・糞尿が混ざり、泥濘化しやすい</li> <li>・こまめな管理が必要</li> </ul>
コンクリート など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・凸凹しにくい、ぬからない</li> <li>・機械作業が楽</li> <li>・保守管理が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストがかかる</li> <li>・乾燥しにくい</li> <li>・滑りやすい</li> <li>・蹄に負担がかかりやすい</li> </ul>

### (2)飼槽スペース、草架台の設置

パドックに牛を2～3時間以上出す場合には、頭数に応じた十分な飼槽スペースや草架台が必要です。また、草架台を使う場合には、ロールをほぐして給与することで、牛が食べやすくなり、粗飼料の乾物摂取量を高めます（写真1）。

### (3)水の給与

パドックでは、新鮮な水がいつでも飲めることが大切です。水槽の構造としては、飲み口が広く、浅く、掃除がしやすいものが理想です。また、水槽の周りが水浸しで滑ったりするような場所だと飲水を我慢してしまうかもしれません。水槽周りの整備も合わせて行いましょう。



写真1 草架台のロールをほぐして給与する農場

## 2 パドックの泥濘化<sup>でいねい</sup>にご注意を！



写真2 牛舎出入りに泥濘化対策を行う農場

雪解け時期や降雨などによるパドックの泥濘化は、①蹄病の増加、②乳房炎の増加、③家畜や畜舎の汚れ、などの要因となり、生産性を低下させる可能性があります。クリーン＆ドライな環境を維持できるような管理が必要となります。

別海町のある農場では、下から砂利（厚さ20～25cm）、すのこ、火山灰の順で牛舎出入り口通路を層構造に施工することで泥濘化対策をしています（写真2）。

土壌表面の傾斜勾配（目安として3%以上の勾配）を付け表面排水を重視し、補助的に地下浸透させる構造となります。

### ●【酪農経営科】それぞれの夢の実現へ！—

3月1日(水)に第70回卒業証書授与式が挙行され、全日制課程酪農経営科14期生12名が、社会人の第一歩を踏み出しました。在校生は教室でオンラインにより卒業生を見送りました。また生徒12名は新たに農業クラブOB会に入会しました。新会員代表として水沼皓介さんが選出されました。なお、今年度の酪農経営科の進学・就職状況は次の通りです。



卒業証書授与の様子



卒業式の様子

#### 【進学】

酪農学園大学、北海道農業大学校、代々木アニメーション学院、札幌情報未来専門学校

#### 【就職】

小守牧場、水沼ファーム、矢内牧場、運上船舶工業(有)、根室水道(株)、医療社団法人 一期会 ウェル歯科診療室、自衛隊自衛官候補生

### ●【酪農経営科】別高農クラブワークショップ②

2月22日(水)に2回目の別高農業クラブワークショップが農業クラブ執行部主催で行われました。今回は、プロジェクト活動の課題設定のために、執行部が役場やJA、改良普及センターの協力のもと、別海町内の課題について調査し、クラブ員と情報共有を行いました。別海町の課題をもとに、各専攻班で課題設定と活動内容について話し合いました。全班が同じ教室で活動し、他の班の活動の様子を見ることで、専攻班同士での連携が図られるなど、課題設定以外でも活発な活動が見られたワークショップとなりました。

ご協力いただきました企業の皆さま、お忙しい中ご対応いただきありがとうございます。

来年度4月に計画発表会、9月に中間発表、12月に校内実績発表大会を予定しています。



ワークショップの様子①



ワークショップの様子②

### ●【専攻科】ディッパーを開発

専攻科では酪農現場で使う機材を開発しています。ディッピング液を電動で泡にするディッパーを試作しましたので紹介します。

このディッパーは、電動でディッピング液を泡にすることで、使用量を1/3程度にすることができます。

昨今の酪農が置かれている状況を考え、少しでも経費節減できるモノを開発したいと思います。

この他にもバケット搾乳の際にミルクホースを支持する器具も安価に作成しました。ご興味のある方は専攻科にお問い合わせください。



オートバブルディッパー

### ●【専攻科】別海高等学校農業特別専攻科 永年功労者表彰授与式

2月28日(水)に農業特別専攻科開設50周年を記念し、永年功労者表彰式が行われました。農業特別専攻科は昭和47年の開設以来、462名の酪農産業を支える人材を輩出してきました。その歴史の中で長年にわたり、農業特別専攻科の発展に貢献していただいている方々に感謝の意を込めて功労者として表彰させていただきました。

次に表彰者のご芳名を掲載いたします。



永年功労者表彰授与式

- |                |          |
|----------------|----------|
| ・農業特別専攻科同窓会副会長 | 故・林 義和 様 |
| ・元北海道別海高等学校校長  | 大塚 保男 様  |
| ・農業特別専攻科後援会長   | 石田 敦 様   |
| ・農業特別専攻科同窓会長   | 眞下 雅人 様  |

### ●【専攻科】修了証書授与式挙行

3月1日(水)専攻科ゼミ室において、別海町長曾根興三様のご臨席を賜り、第50回農業特別専攻科修了証書授与式を挙行了しました。

修了式後も、曾根町長から学生との対話の時間を作っていただき、学生一人ひとりの状況を聞いていただき、今後の活躍に対して激励の言葉をいただきました。

今年度の修了生5名は、厳しい酪農情勢の中にあっても研究を熱心に取り組む学生でした。2名は別海町で自家牧場に入り、1名は置戸町の放牧酪農の牧場に勤め、1名はJA道東あさひの酪農ヘルパーとして勤務を続け、1名は別海町の役場職員として勤めることとなります。彼らが無事修了を迎えることができたのも地域の皆様、関係機関のご理解とご協力あってのことです。この場をお借りして感謝申し上げます。



第50回修了式

# 第14回 理事会の動き

令和5年3月29日(水)

## 報告事項

- 1 組合員の脱退について
- 2 令和4年度12月末定期監査報告書について
- 3 令和5年度理事報酬額の諮問に対する答申について
- 4 令和4年度2月末基準決算見通しについて
- 5 個人情報内部監査報告について
- 6 令和4年度草地整備促進支援事業に係る利子助成について
- 7 令和4年度生産性向上整備事業に係る助成金の支出について
- 8 リース契約の締結について
- 9 固定資産の取得について
- 10 固定資産の除却について
- 11 令和4年度2月末営農関連実績について
- 12 令和4年度北海道農業公社リフレッシュ事業に係る自己負担金の精算について
- 13 令和4年度畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業豊原・新中地区）に係る自己負担金の精算について
- 14 令和4年度草地畜産基盤整備事業（美原地区）に係る自己負担金の精算について
- 15 特定疾病感染状況について
- 16 令和4年度畜産・酪農生産力強化対策事業及び和牛遺伝資源流出防止対策緊急支援事業の実績報告について

- 9 家畜ふん尿貯留施設整備事業実施要綱（案）について
- 10 断水時緊急対策事業実施要綱（案）について
- 11 良質乳生産環境維持対策事業実施要綱（案）について
- 12 糞尿利活用草地整備改良事業実施要綱（案）について
- 13 令和5年度畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業豊原地区）の実施について
- 14 令和5～8年度畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業中春別地区）の実施について
- 15 令和5年度畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業中春別地区）の実施について
- 16 令和5年度草地畜産基盤整備事業（美原地区）の実施について
- 17 令和5～9年度草地畜産基盤整備事業（中新地区）の実施について
- 18 令和5年度草地畜産基盤整備事業（中新地区）の実施について
- 19 令和5年度草地難防除雑草駆除技術実証事業に係る事業計画について
- 20 令和5年度自給飼料生産性向上対策事業の実施について
- 21 令和5年度新規就農者受入体制整備に係る乳牛導入支援事業について
- 22 令和5年度府県乳牛動向追跡調査の実施について
- 23 令和5年度（前期）JA中春別選定種雄牛（案）について
- 24 令和5年度給与表について
- 25 令和4年度期末賞与の支給について
- 26 令和5年度職員給与の定期昇給について
- 27 第25期別海町農業委員の推薦について

## 議案

- 1 令和5年度役員との取引基準について
- 2 令和5年度役員賠償責任保険契約の締結について
- 3 北海道常例検査に伴う指摘事項改善状況等の回答について
- 4 職制規程の一部改正について
- 5 令和5年度貸付金利率の最高限度率について
- 6 令和5年度信用供与等限度額設定について
- 7 令和5年度生産性向上整備事業の実施について
- 8 飼養管理施設長期有効活用整備事業の実施要綱（案）について

## 協議事項

- 1 地区別組合員懇談会の意見集約について

## 2月乳質乳価一覧表

		単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)	
乳脂肪分		960.481		40.11	38.79	1.32	
無脂乳固形分		609.501		54.04	52.71	1.33	
生産者補給金		6.6336		6.63	6.59	0.04	
集送乳調整金		2.0801		2.08	2.07	0.01	
補給金合計		8.7137		8.71	8.66	0.05	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	288,839,501.2	3.76	3.77	-0.01
		ランク2	0	11,407,573.6			
		ランク3	-3	325,911.5			
	体細胞数	ランク1	2	271,393,989.1			
		ランク2	1	15,591,660.3			
		ランク3	-2	3,144,244.7			
合計				106.62	103.93	2.69	

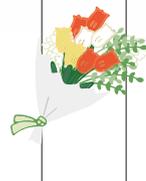
## 2月生乳受託実績表

項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分①	40円11銭	
無脂乳固形分②	54円04銭	
生産者補給金③	6円63銭	
集送乳調整金④	2円08銭	
脂肪率	全道	4.18%
	農協	4.24%
無脂固形分率	全道	8.87%
	農協	8.79%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道	102円86銭
	農協	103円00銭
乳質乳価⑥	全道	3円76銭
	農協	3円70銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道	106円62銭
	農協	106円70銭
	差異	0円08銭

## 退職のご挨拶



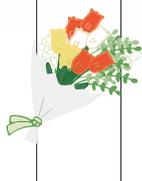
田中 幸夫



退職にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。  
この度、3月31日をもって定年退職となりました。  
昭和61年10月に臨時職員として給油所から始まり、畜産販売課、管理課、生活店舗課、最後に給油所に戻り各部署で働かせていただき、組合員の皆様と直接かかわることが多いため、ご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、公私ともに温かいご支援をいただき無事に定年まで勤められたことに感謝申し上げます。  
終わりになりますが、組合員の皆様および役職員の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして退職の挨拶とさせていただきます。  
長い間誠にありがとうございました。



郡司 英幸



私は、平成5年4月より給油所の新設に伴い奉職させて頂いてから組合員の皆様を始め、職員、地域の皆様は大変お世話になりました。  
給油所に関しましては、2度の新設に立ち合わせて頂き、セルフ給油所、自動洗車機導入等に関わることが出来ましたことは貴重な経験となりました。  
それから店舗、販売課にお世話になり、約30年が経ちました。  
JA中春別での経験を生かし、これからの人生に役立てたいと思います。  
皆さん、本当にお世話になり、ありがとうございました。



木下ひかる



この度、令和5年3月31日をもって退職致しました。  
平成24年に入組し約11年間、管理課・経営相談課・営農振興課に所属し、様々な事で組合員の皆様と携わらせていただき、その中でご迷惑をかけた事もたくさんありましたが、ご指導ご鞭撻を賜りながら今日まで職員としての対応させて頂いただけ事を大変有り難く思っております。女子職員の中でも、人一倍外勤に行く機会が多く、組合員の皆様と楽しくお話しした日々は私の宝物となりました。  
本来は直接、皆様にお会いし、ご挨拶させて頂きたかったです。ですが、ご報告が遅れましたことに申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後につきますしても、この職場で学ばせていただいた経験・知識を生かせるよう努めて参ります。  
最後になりますが、組合員の皆様方の益々のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。退職の挨拶とさせていただきます。大変お世話になりました。



久末 優瑠



この度、3月31日をもって、退職致しました。  
今般の退職にあたり、皆様に一言お礼のご挨拶を申し上げます。  
平成30年に入組後、研修期間を経て1年目は営農振興課、2年目からは購買課で4年間と、5年に渡りまして日々の業務で組合員の皆様と携わらせていただきました。  
その中でご迷惑をかけたことも多々ありながらも、ご指導、ご鞭撻を賜りながら、農協職員として今日まで業務をさせていただいたことを、大変有り難く思っております。  
今後は、酪農後継者として農協で学ばせていただいた経験や知識を活かせるよう努めて参ります。  
組合員の皆様はじめ、関係機関の皆様、役職員の皆様には改めて、お世話になりますので、よろしく申し上げます。  
最後になりますが、皆様の益々のご健康とご活躍を、心よりご祈念申し上げます。



●▲なかしゅんべつ

# LINE公式アカウントはじめました お友だち募集中!

お手元の携帯にチラシやお得な情報が届きます♪



給油所の情報もお届け!



右のQRコードを読み取る

当アカウントを友だち追加

お得な情報が届きます

登録はこちらから

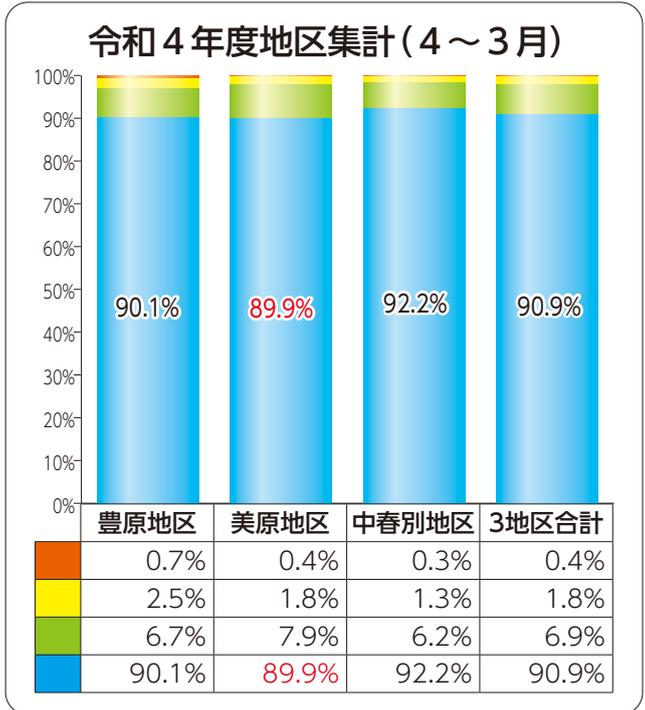
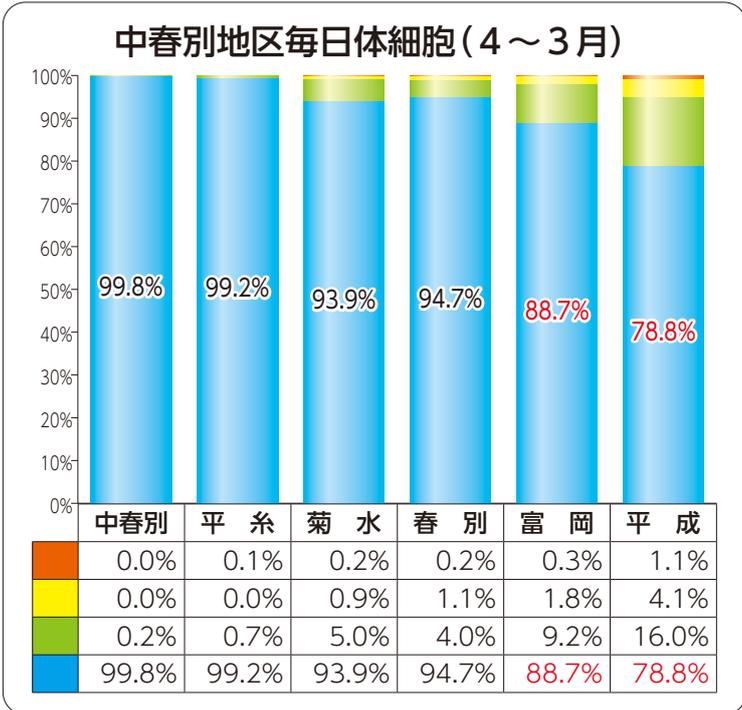
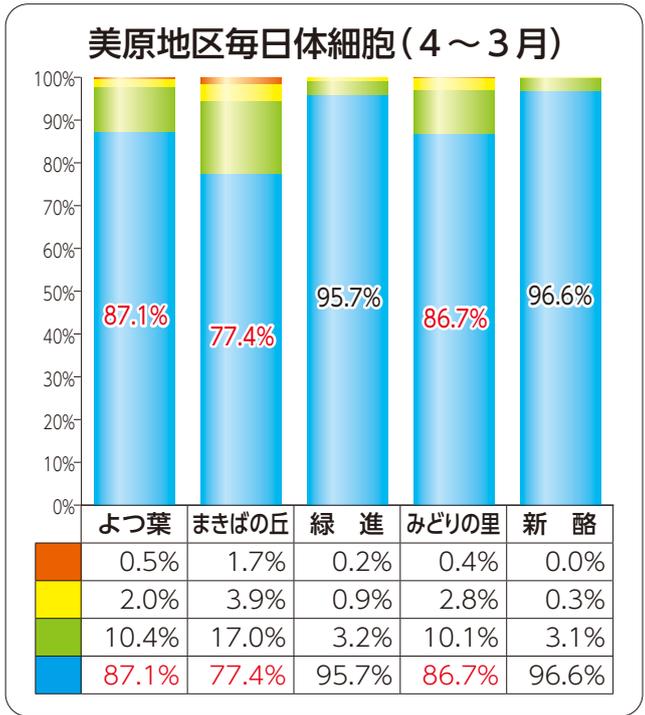
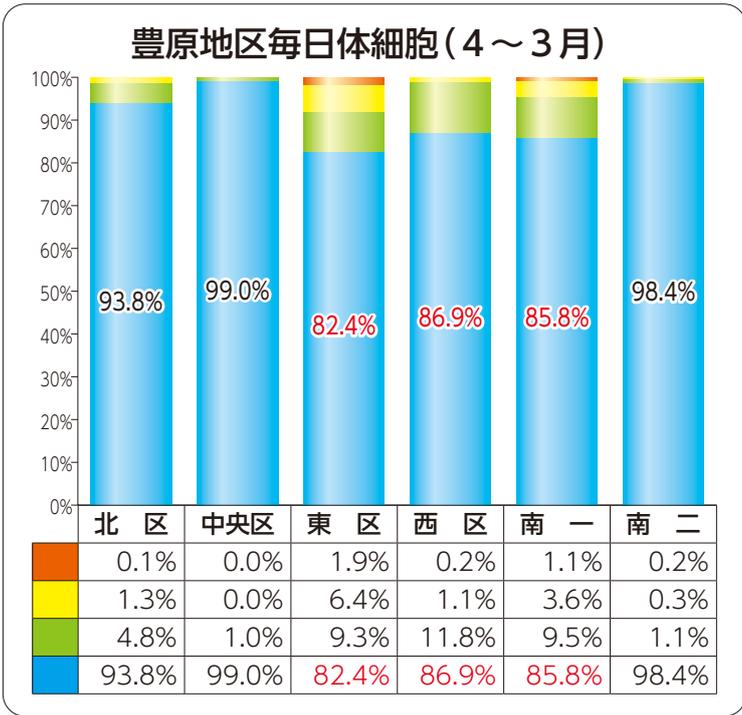


# 生乳汚染事故を無くそう!

令和5年3月31日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質混入事故	2件	8件
生菌による汚染事故	0件	0件
異物混入、加水、血乳による汚染事故	0件	1件
異臭、異常風味による汚染事故	0件	2件

**毎日のCMT液検査で  
良質な生乳生産を!**

良質生乳生産推進委員からの標語



凡例： 50.5万以上 40.5~50.4 30.5~40.4 30.4万以下

## 農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動のお礼と結果報告

**実績 5,328,005円**

令和4年度も農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動の取りまとめを行いました。

青年部・女性部のお中元・お歳暮ギフト、需要拡大運動第1次、第2次を行い、合計5,328,005円のご注文をいただきました、ご協力くださいました皆さん大変ありがとうございました。

今年度以降も消費拡大をめざし、皆さまにお喜びいただけるよう取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。



5月31日は

## 自動車税種別割納期限です。

自動車税種別割は、4月1日現在で運輸支局に登録されている自動車の名義人（所有者）にかかる税金です。

納税は金融機関、郵便局又はコンビニエンスストアのほか、インターネット上の「北海道自動車税支払い」サイトから行うクレジットカード納税や、スマートフォン等のタブレット端末から決済アプリを用いて納税することができます。

5月31日までに必ず納めましょう。



納税に関するご相談は、根室振興局 税務課納税係まで

☎(0153)24-5466(直通)

## 巡回ドックのお知らせ

年に一回、健康づくり

今年度の巡回ドックは8月24日(木)・25日(金)の2日間を予定しております。

6月に農協よりお知らせをいたしますので、ご希望の方はお申し込みください。

また、協会けんぽに加入されている皆さまは、巡回ドック申込時に令和4年度全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診対象者一覧が必要となりますので、大切に保管していただきますよう、よろしくお願いいたします。



# クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

抽選で5名の方に  
牛乳引換券を  
プレゼント!!



1	6	9		14	18	21
		B				
	7		11		19	C
2			12	15		
		10				
			E			
3	8				20	
			13	16		
4						
						D

(出題) ニコリ

正解者の中から抽選で5名の方に牛乳引換券をプレゼント(郵送)いたします。  
**《応募方法》** 営農振興課宛に**FAX(76-2341)**でご応募ください。  
**《応募締切》** 令和5年4月28日(金)まで

※ご住所・応募者のお名前を必ずご記入ください。記入漏れがありますと、抽選対象から外れる場合もございますのでご注意ください。  
 ※ご応募に関して取得した個人情報はこの度の景品の抽選以外には使用いたしません。

## 4月号のこたえ

□ A □ B □ C □ D □ E

住 所 〒

名 前

電話番号

返信先: JA中春別 FAX76-2341 (営農振興課宛)

## ヨコのカギ

- 端午の節句に食べるものの1つ
- 竹林が似合う猛獣
- 感のある3D映像
- 母の日に贈るカーネーションの、定番の色の1つ
- 大正の1つ前の年号です
- 害獣や害虫を追い払うこと
- 淡水と海水が混じり合ったもの
- 鳴門海峡のものが有名
- 校内で「走らないように」と注意されやすい場所
- 京都三大祭の1つ、——祭は5月15日に行われます
- 煮切って使うこともある調味料
- メロンやスイカはこの仲間
- 街を——もななくうろついた

## タテのカギ

- ザッと降ってサッとやみます
- 変わると寝付けない人も
- お稲荷さんの——はキツネです
- 桃太郎のお供をした鳥
- 南の反対側
- 田んぼへ——から水を引き入れた
- 小野妹子が遣わされた国
- 潮干狩りに出かける所
- 12星座占いで5月生まれの人は——座か双子座です
- 夜になると家々にとまります
- ヤマネコは特別天然記念物です

## 3月号の正解は

A B C D E  
**ハルガスミ**  
 でした

ス	ミ	ダ	ガ	ク	ウ
カ	ン	キ	ス	ウ	
ス	タ	オ	キ	シ	
ト	ヨ	ハ	ク	エ	
ラ	マ	ク	ウ	オ	ン
イ	ル	カ	コ	メ	
ク	ニ	ユ	ウ	ガ	ク

## 当選者発表

たくさんの応募ありがとうございました。  
 第7回は田淵吉明生産部長に抽選して頂きました!



- 小 原 登代子
- 小 林 ヨシコ
- 佐 藤 キクエ
- 酒 井 孝 樹
- 竹 林 未 織

(敬称略)